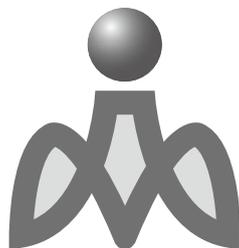


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔令和5年1月～3月実績〕  
〔令和5年4月～6月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12



## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第4四半期 令和5年1月～3月期 「調査時点：令和5年3月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービスマ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

### 5. そ の 他

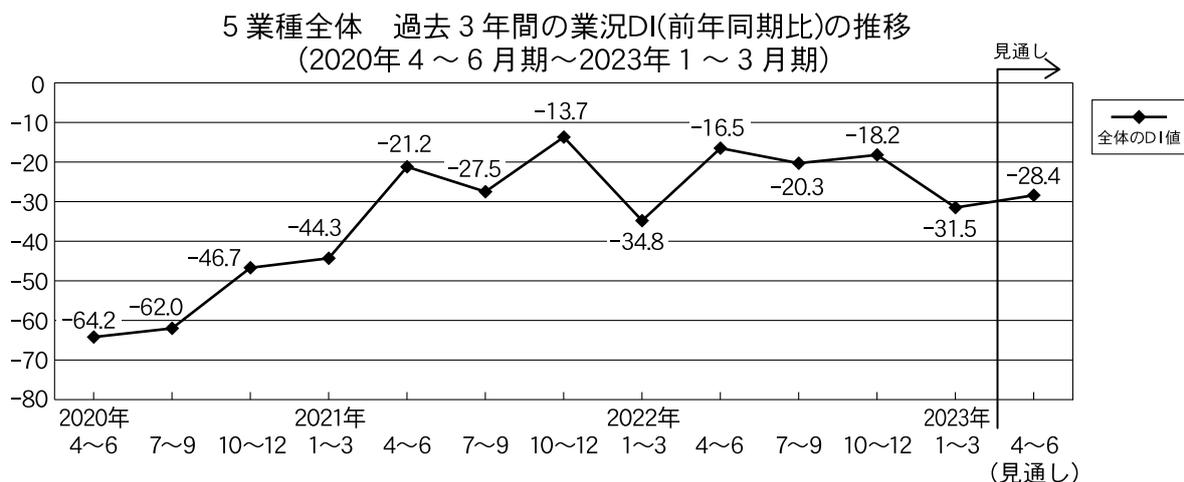
本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

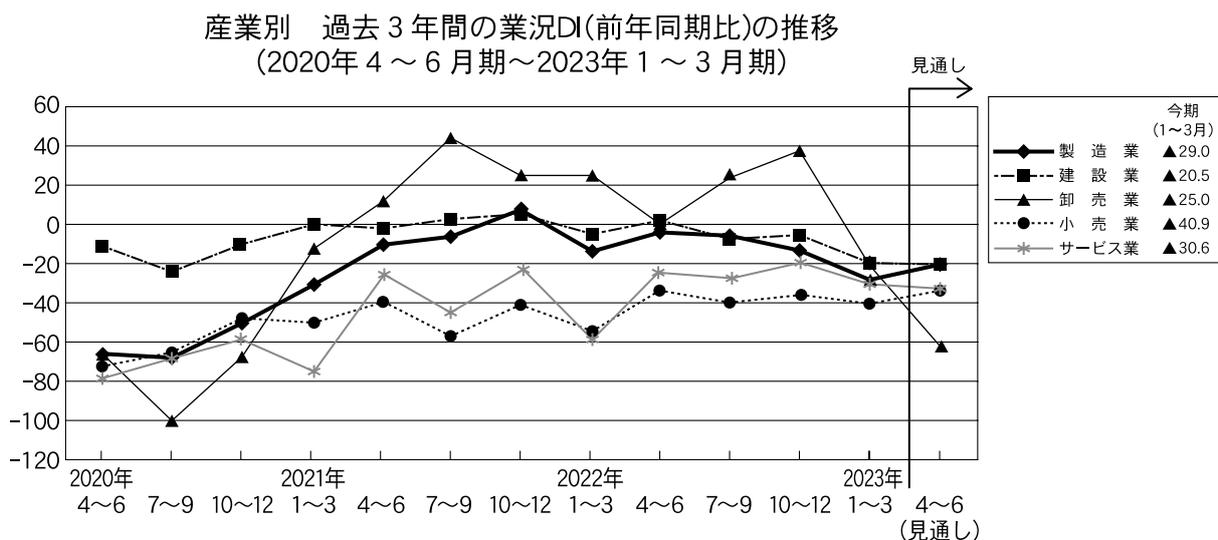
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲31.5と前期比で13.3ポイント悪化している。来期については▲28.4と僅かに改善の見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

全産業の業況判断が前期より悪化している。製造業が▲29.0で前期比▲15.5ポイント、建設業が▲20.5で前期比▲15.5ポイント、卸売業が▲25.0で前期比▲62.5ポイントの大幅悪化、小売業が▲40.9で前期比▲5.4ポイント、サービス業が▲30.6で前期比▲11.8ポイントであった。

来期は、卸売業がさらに▲37.5ポイントの悪化見通し、サービス業も僅かではあるが悪化の見通し。一方、製造業、建設業、小売業は今期業況判断より若干ながら改善の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの122企業を含めた287サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

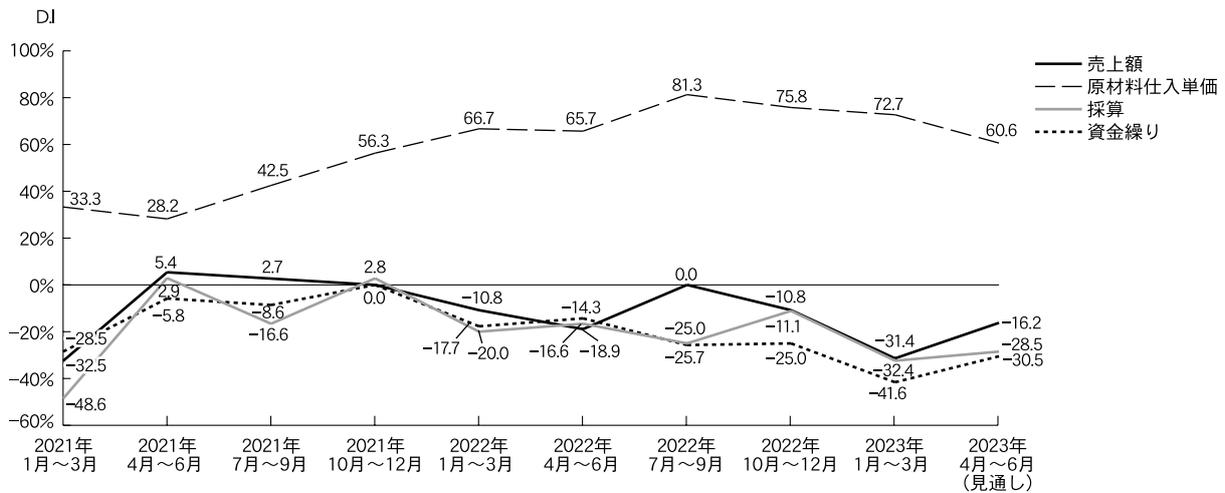
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲32.4と前期比で21.6ポイント悪化したが、来期は▲16.2へと改善の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期72.7と前期比で3.1ポイント下降（改善）し、来期はさらに60.6へと下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲41.6と前期比で16.6ポイント悪化したが、来期は▲30.5へ改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲31.4と前期比で20.3ポイント悪化したが、来期は▲28.5に若干ながら改善の見通しである。

今期は僅かに悪化した原材料仕入単価D I以外を除き、他のD Iは全て二桁ポイントでの改善であった。来期は全てのD Iが改善の見通しとなっている。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



### (2) 主な項目でみる業況

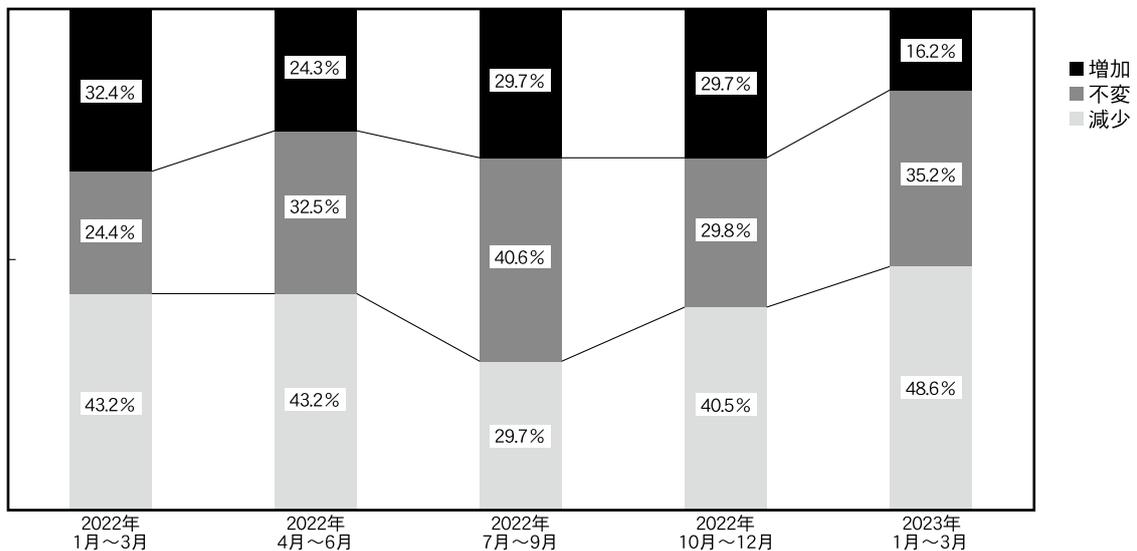
#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、16.2%（6社）と減少（前期比▲5社）している。

「不変」は35.2%（13社）と増加（前期比+2社）、

「減少」は48.6%（18社）と増加（前期比+3社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数36社））

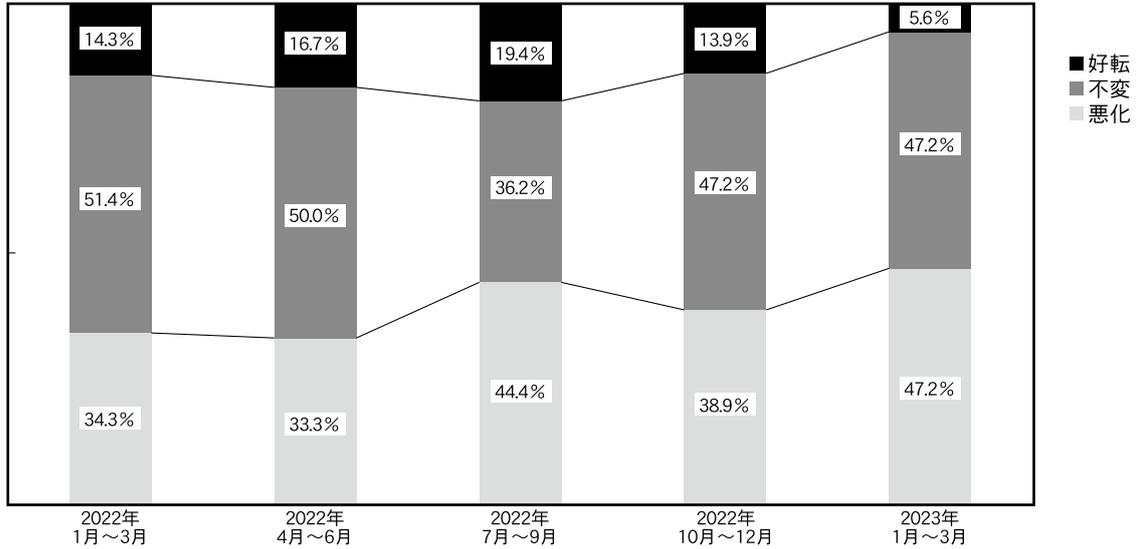
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.6%（2社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は47.2%（17社）と前期比で変化なし、

「悪化」は47.2%（17社）と増加（前期比+3社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

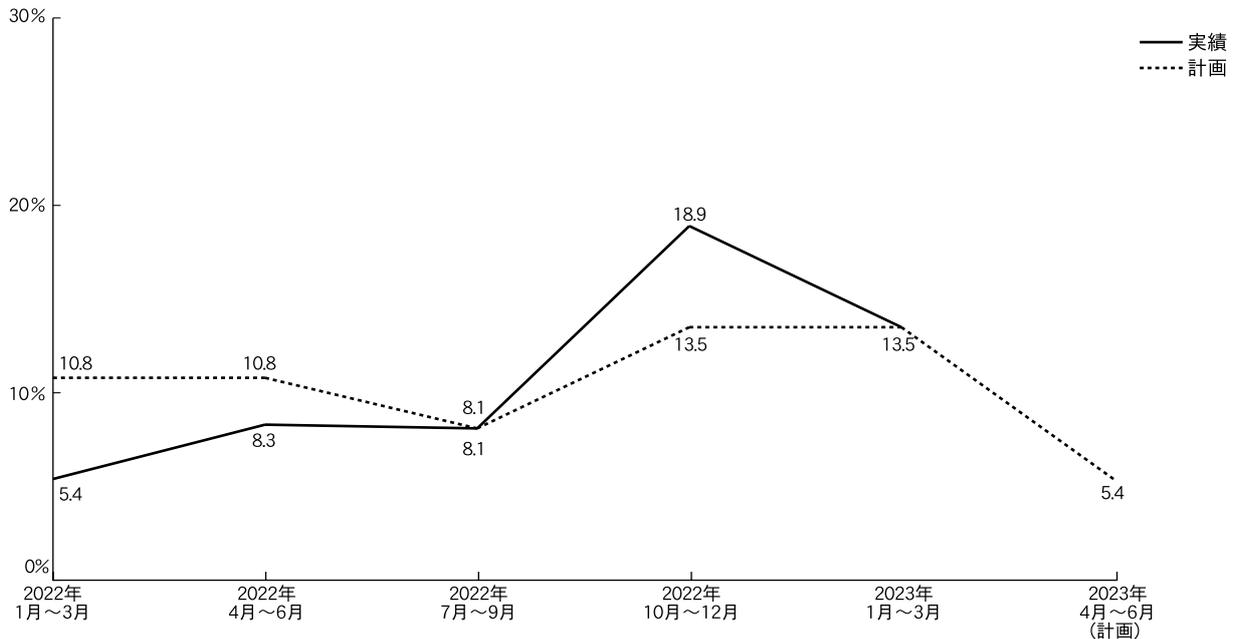


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（5社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」「車両・運搬具」が2件ずつ、「工場建物」「付帯施設」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、5.4%（2社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」が2件である。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数36社）

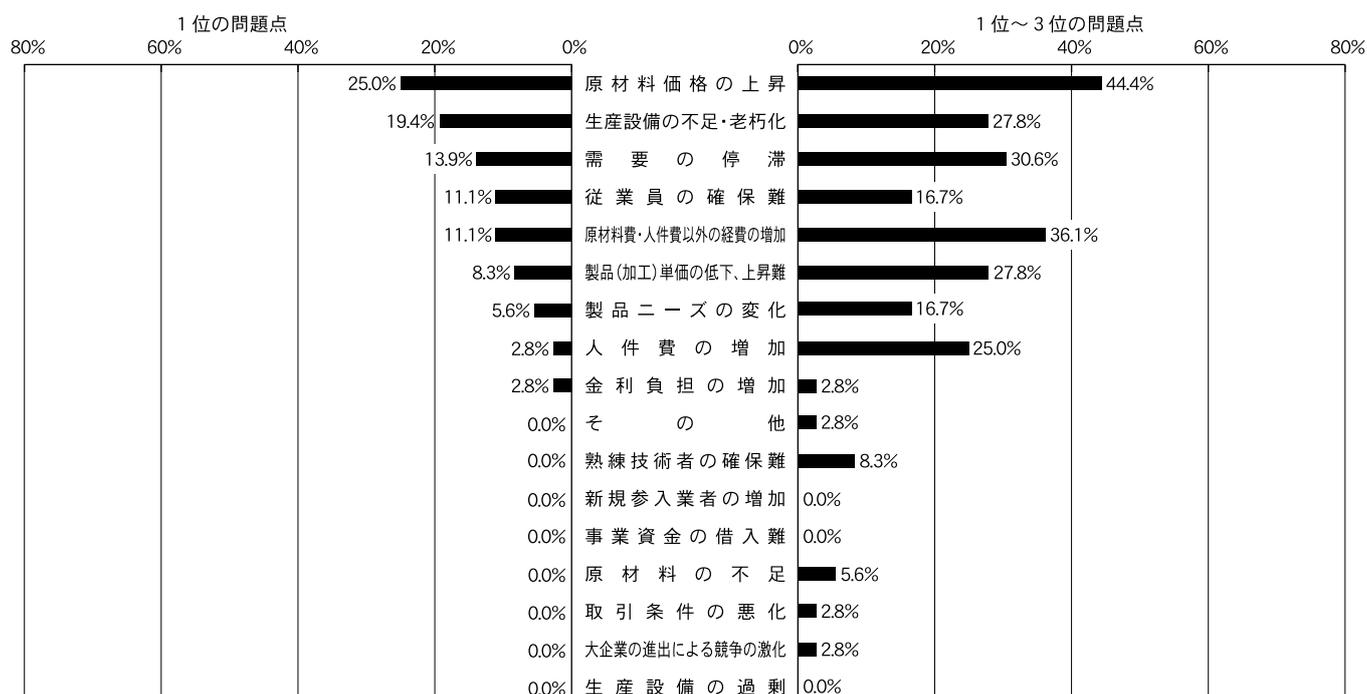
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の25.0%（9社）であり、2番目は「生産設備の不足・老朽化」の19.4%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「原材料価格の上昇」の44.4%（16社）であり、2番目に多かったのは「原材料費・人件費以外の経費の増加」の36.1%（13社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	4	10.8
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	3	8.1
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.9
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	3	8.1
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

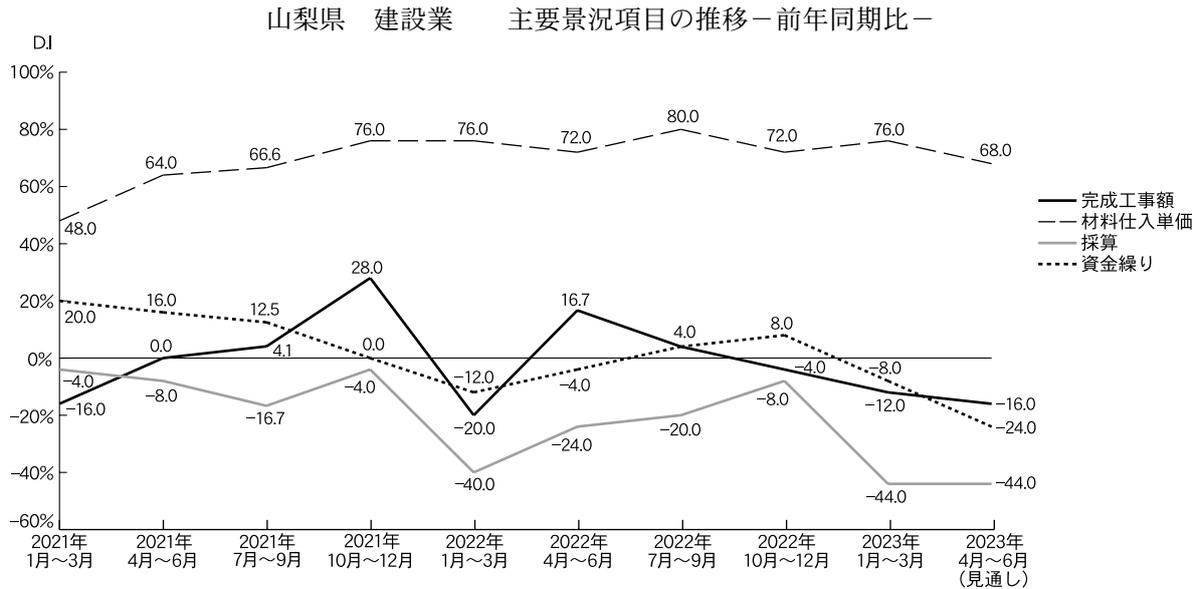
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	18	48.6	15	40.5
3人～5人以下	9	24.3	7	19.0
6人～10人以下	7	18.9	11	29.7
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期▲8.0と前期比で16.0ポイント悪化し、来期もさらに▲24.0へ悪化の見通し。材料仕入単価D Iも、今期76.0と前期比で4.0ポイント上昇（悪化）したが、来期は68.0に下降（改善）の見通しである。採算D Iも、今期▲44.0と前期比36.0ポイント悪化し、来期は変化なしの見通し。資金繰りD Iも、今期▲12.0と前期比8.0ポイント悪化し、来期も▲16.0へ悪化の見通しである。

今期は全てのD Iが悪化となった。来期も完成工事額D Iと資金繰りD Iが悪化の見通しで、採算D Iが変化なし、材料仕入単価D Iが改善の見通しである。



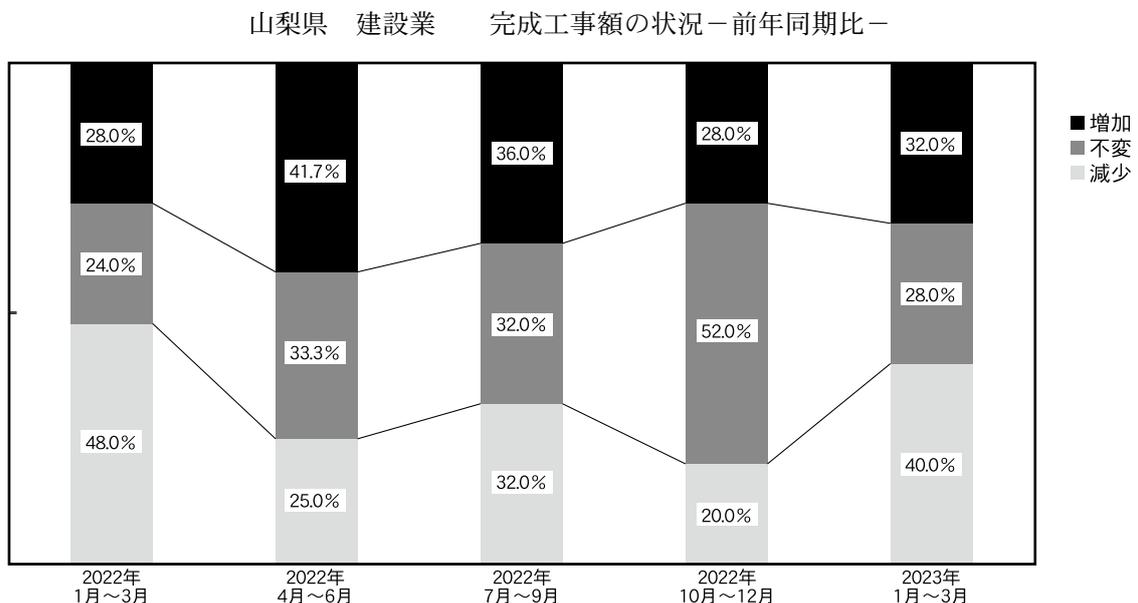
#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、32.0%（8社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は28.0%（7社）と減少（前期比▲6社）、

「減少」は40.0%（10社）と増加（前期比+5社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

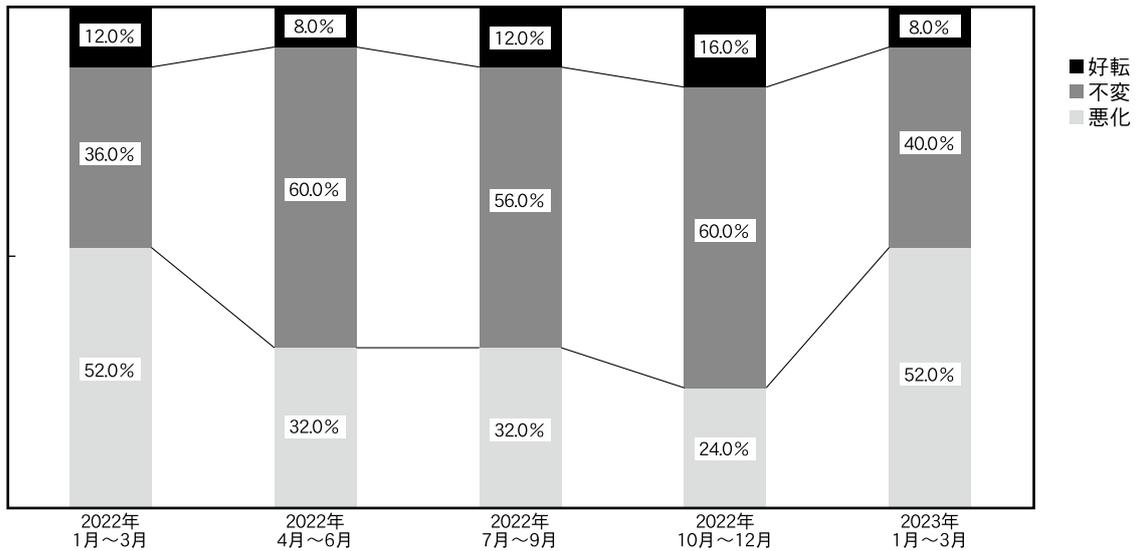
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（2社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は40.0%（10社）と減少（前期比▲5社）、

「悪化」は52.0%（13社）と増加（前期比+7社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

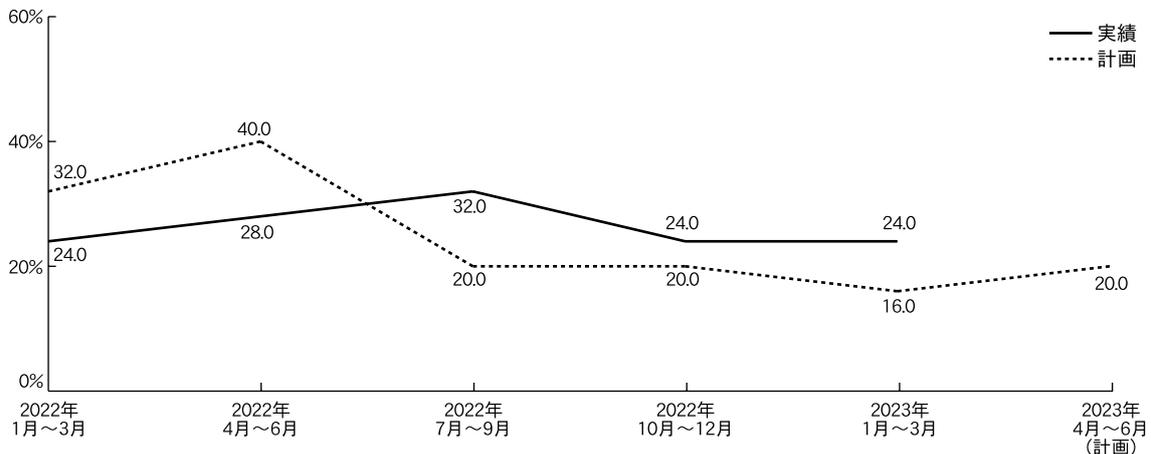


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は24.0%（6社）であった。その設備投資の内容は、「土地」「建設機械」「車両・運搬具」が2件ずつであった。

来期の計画については、20.0%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「土地」「OA機器」が2件ずつ、「建設機械」が1件になる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数25社）

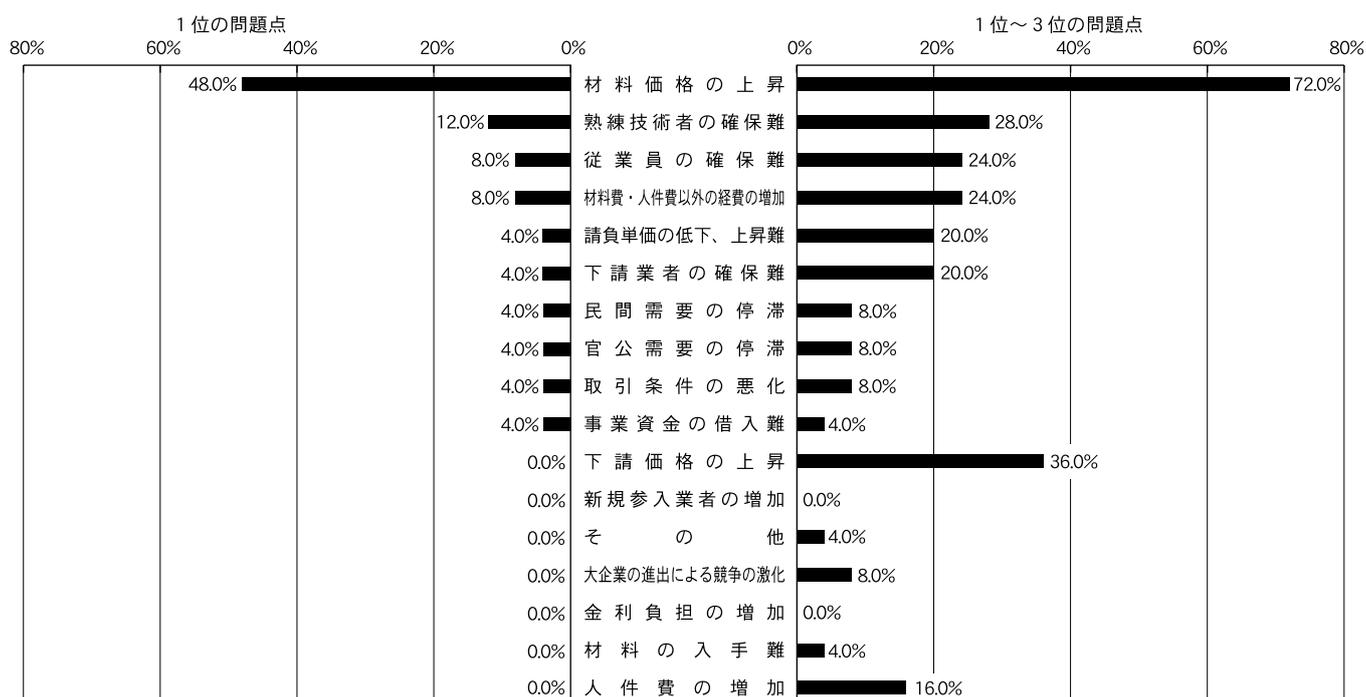
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

前回調査に引き続き「材料価格の上昇」が抜きん出て挙げられており48.0%（12社）であった。2番目に多かったのは「熟練技術者の確保難」の12.0%（3社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも「材料価格の上昇」が抜きん出て挙げられており72.0%（18社）であった。2番目に多かったのは「下請単価の上昇」の36.0%（9社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	3	12.0
設備工事業	3	12.0
合計	25	100.0

従業員規模別

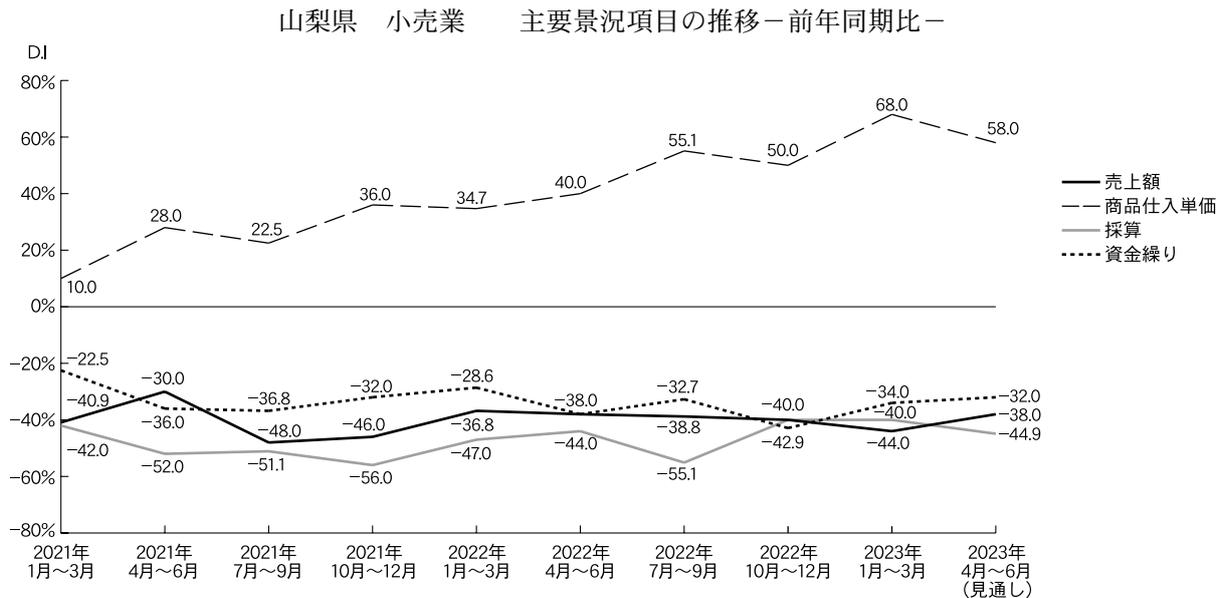
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	6	24.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲44.0と前期比で4.0ポイント悪化したが、来期は▲38.0へ改善の見通し。商品仕入単価D Iも、今期68.0と前期比で18.0ポイント上昇（悪化）したが、来期は58.0へと下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期は▲40.0で前期と変化なかったが、来期は▲44.9へ悪化の見通し。資金繰りD Iは、今期▲34.0と前期比で8.9ポイント改善し、来期も▲32.0へ改善の見通しである。

今期は売上額D I・商品仕入単価D Iが悪化し、採算D Iが変化なし、資金繰りD Iが改善している。来期は採算D Iのみ悪化の見通しで、他のD Iは改善の見通しである。



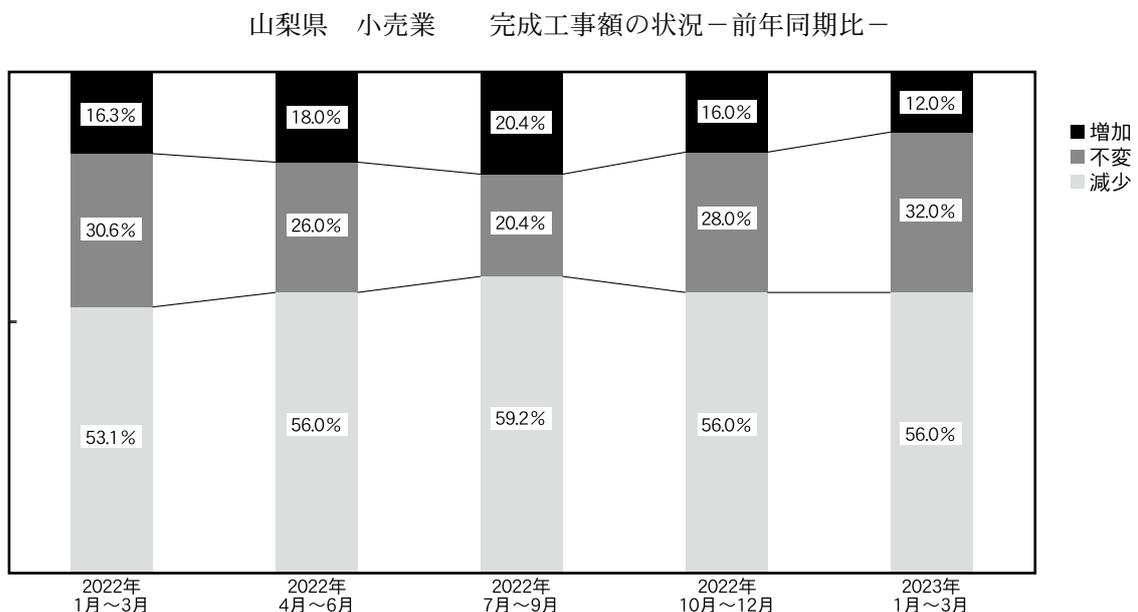
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、12.0%（6社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は32.0%（16社）と増加（前期比+2社）、

「減少」は56.0%（28社）と前期比で変化なしである。

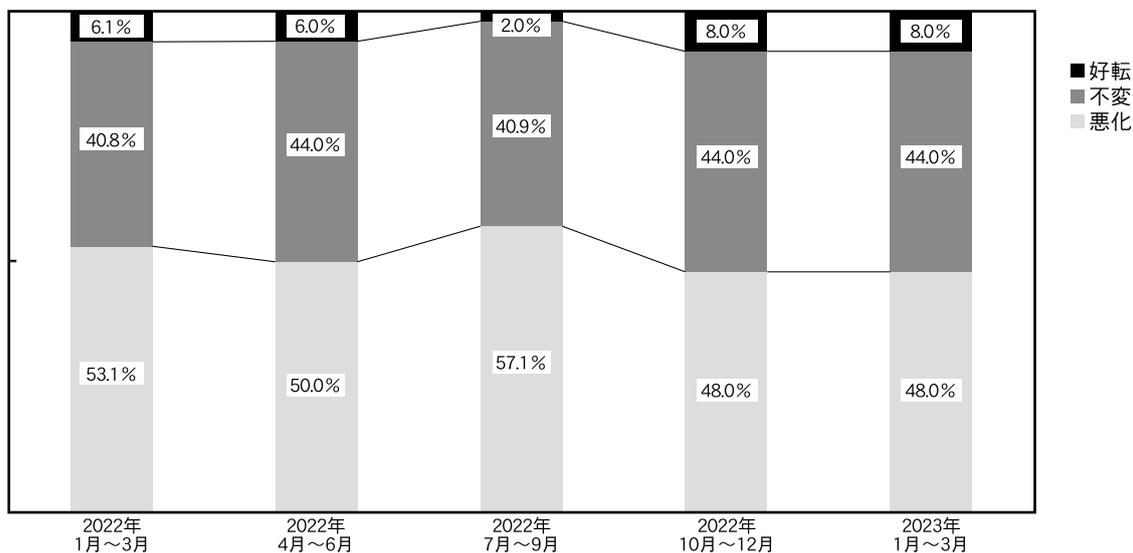


② 採算（採算D I の内容（回答企業数50社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は8.0%（4社）、「不変」は44.0%（22社）、「悪化」は48.0%（24社）で、いずれも前期比で変化なしである。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

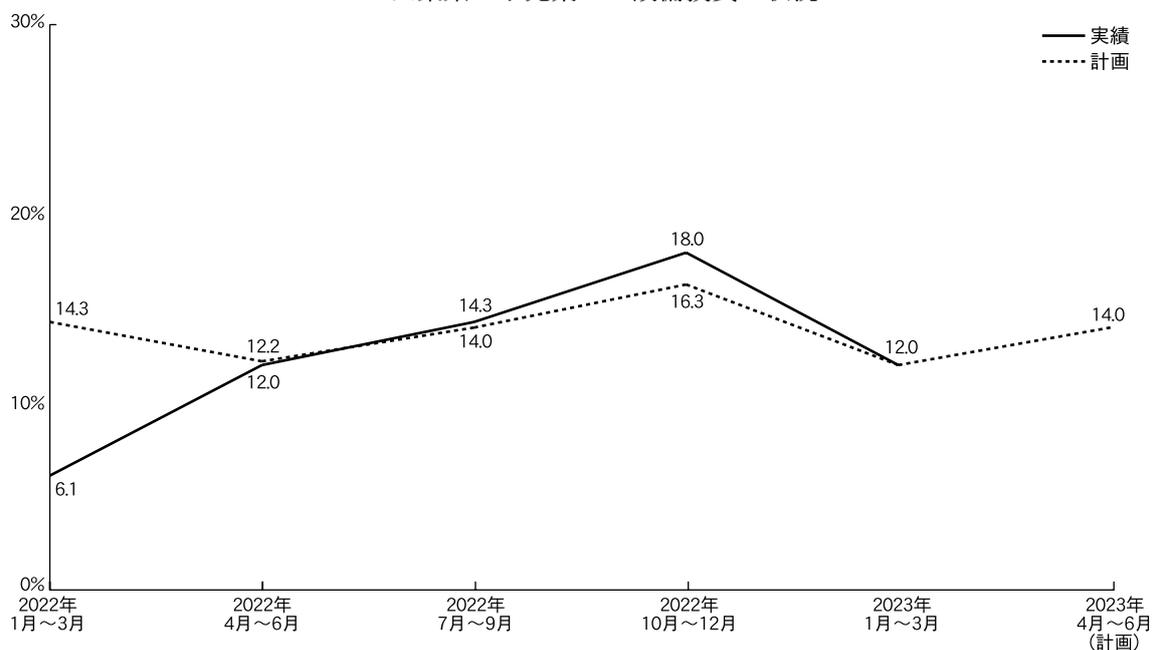


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は12.0%（6社）であった。その設備投資の内容は、「販売設備」「車両・運搬具」「OA機器」が2件ずつ、「土地」「店舗」「付帯施設」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、14.0%（7社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「その他」が2件、「店舗」「販売設備」「付帯施設」「OA機器」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数48社）

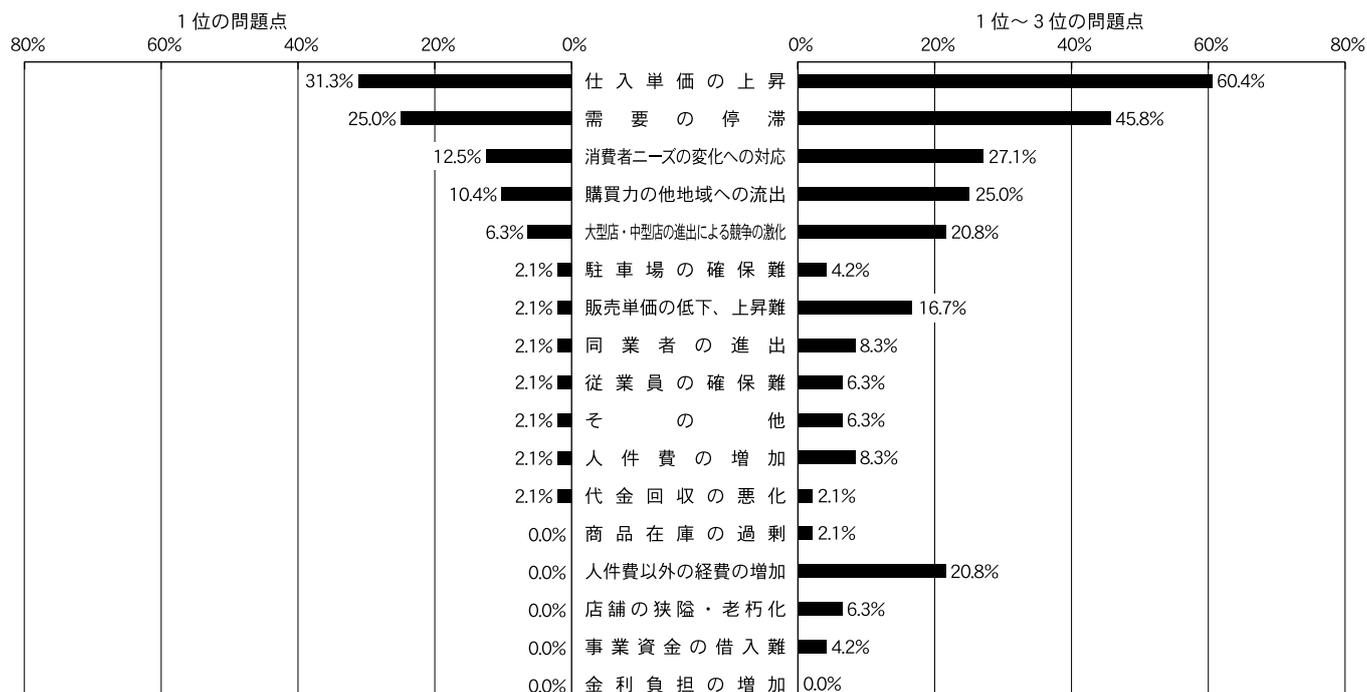
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは「仕入単価の上昇」の31.3%（15社）であり、2番目は「需要の停滞」の25.0%（12社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらでも1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の60.4%（29社）であり、2番目は「需要の停滞」の45.8%（22社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	9	18.0
飲食物品小売業	19	38.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	16	32.0
合計	50	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	92.0	38	76.0
3人～5人以下	4	8.0	12	24.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

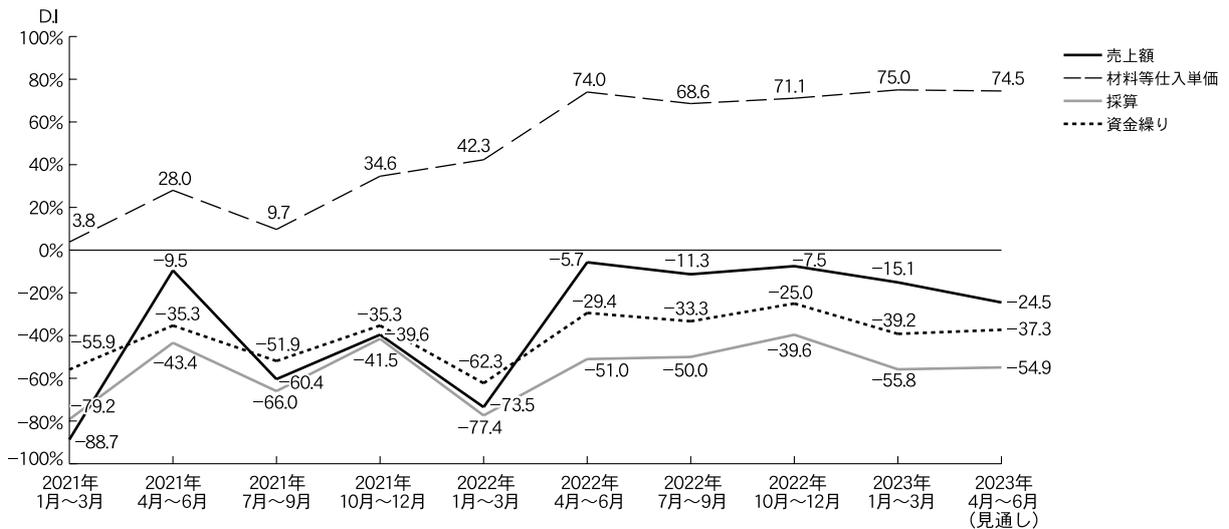
## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲15.1と前期比で7.6ポイント悪化し、来期も▲24.5に悪化の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期75.0と前期比で3.9ポイント上昇（悪化）したが、来期は74.5で僅かに下降（改善）の見通し。採算D Iも、今期▲55.8と前期比で16.2ポイント悪化したが、来期は▲54.9に僅かに改善の見通し。資金繰りD Iも、今期▲39.2と前期比で14.2ポイント悪化したが、来期は▲37.3に僅かに改善の見通しである。

今期は全てのD Iが悪化を示した。来期は売上額D Iのみが悪化の見通しで、それ以外の全てのD Iが僅かながらではあるが改善の見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移－前年同期比－



### (2) 主な項目でみる業況

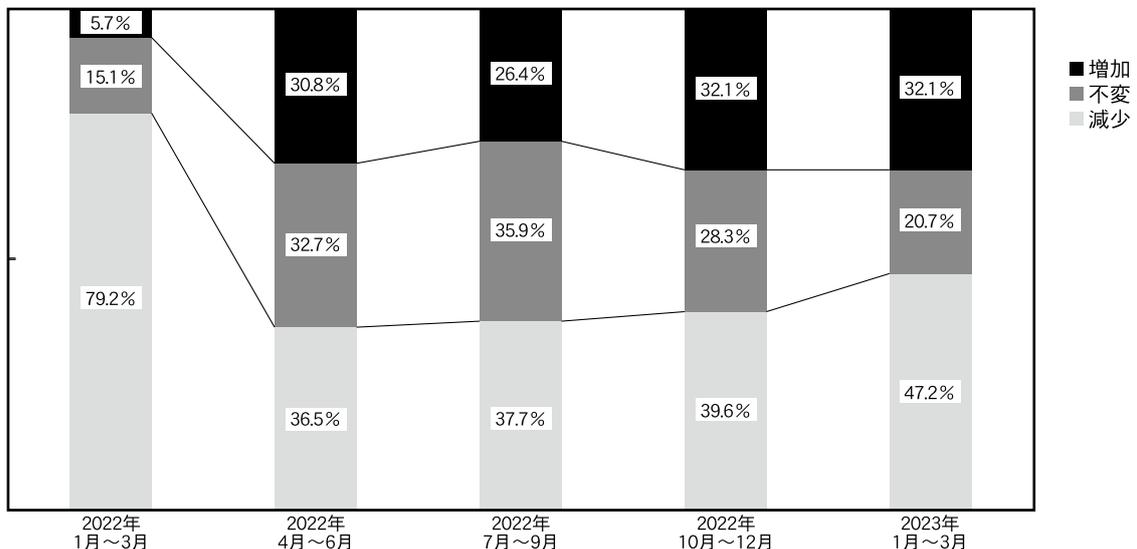
#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、32.1%（17社）と前期比で変化なしである。

「不変」は20.7%（11社）と減少（前期比▲4社）、

「減少」は47.2%（25社）と増加（前期比+4社）している。

山梨県 サービス業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数52社（前回53社））

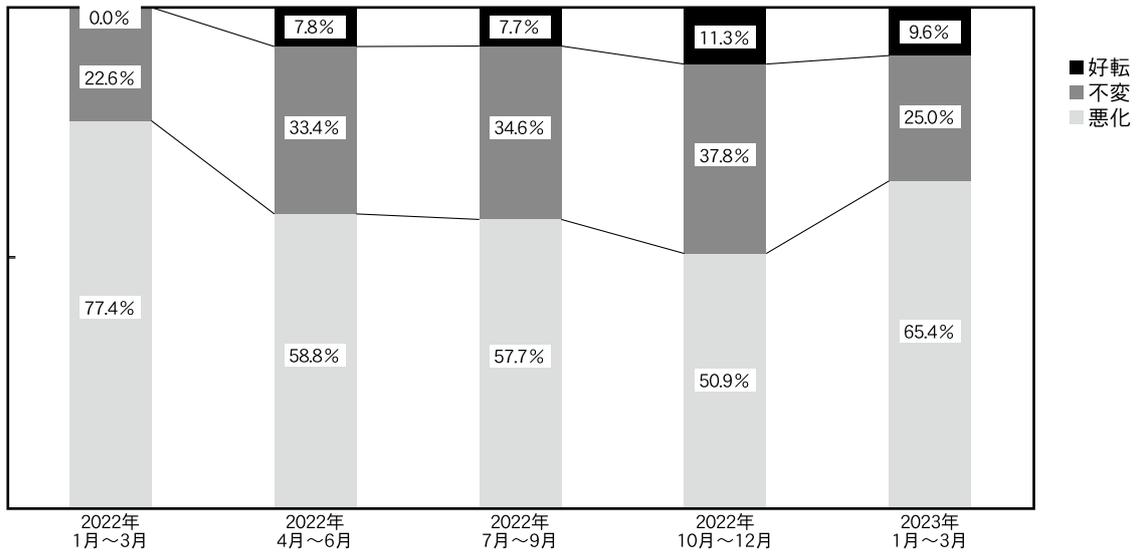
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、9.6%（5社）と減少（前期比▲1社）している。

「不変」は25.0%（13社）と減少（前期比▲7社）、

「悪化」は65.4%（34社）と増加（前期比+7社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

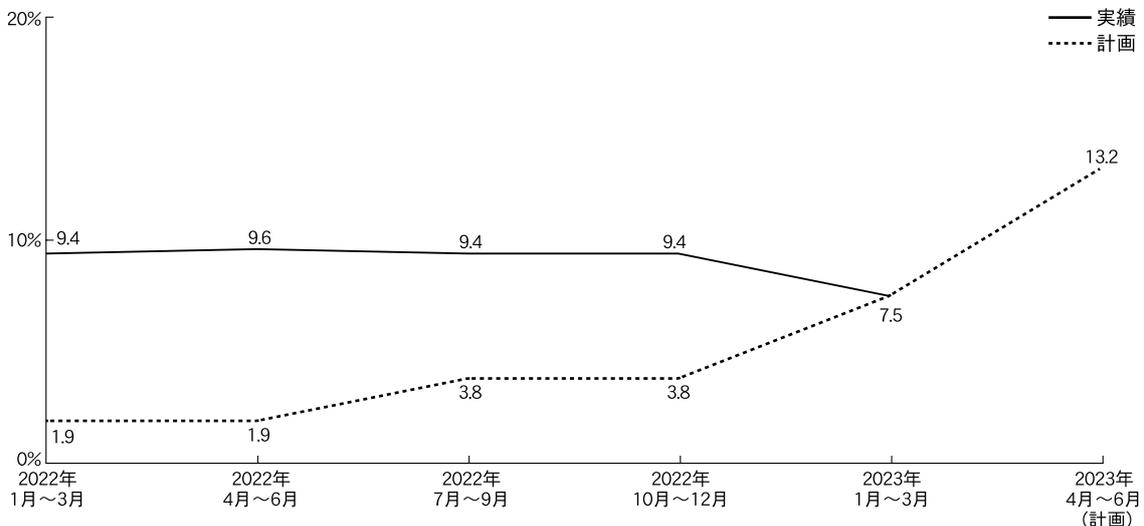


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は7.5%（4社）であった。その設備投資の内容は、「サービス」「付帯施設」が2件ずつ、「福利厚生施設」が1件であった。

来期の計画については、13.2%（7社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「付帯施設」が3件、「サービス」が2件、「建物」「OA機器」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数45社）

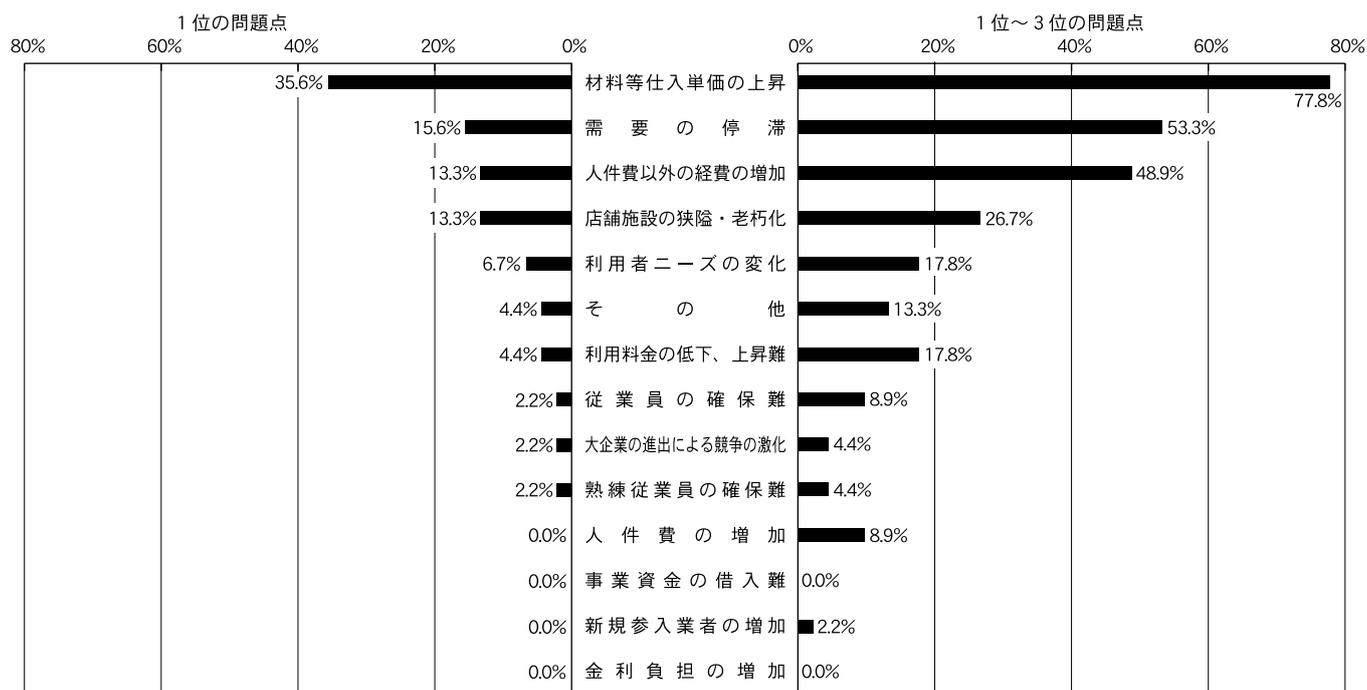
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

前回調査に引き続き1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の35.6%（16社）であり、2番目は「需要の停滞」の15.6%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の77.8%（35社）であり、2番目は「需要の停滞」の53.3%（24社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.8
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い			
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	86.8	40	75.5
3人～5人以下	7	13.2	12	22.6
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0